

平成18年10月18日  
統計部公表

## 平成17年農業産出額（市町村別推計） （埼玉県）

～平成17年農業産出額は1.8%減少～

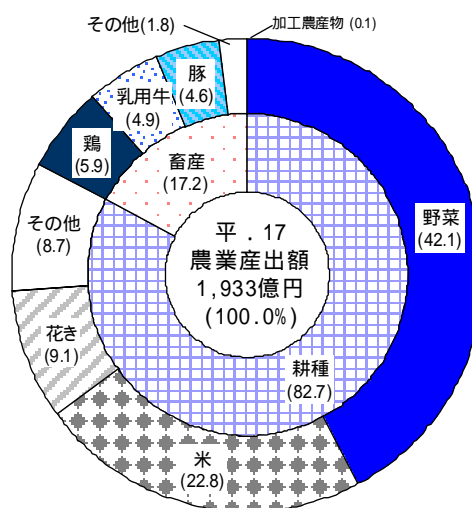
### 【結果の概要】

- 1 埼玉県における平成17年の農業産出額（市町村別推計）は1,933億円で、前年に比べ35億円（1.8%）減少した。

これは、鶏、麦類、果実などの産出額が増加したものの、米、野菜、乳用牛などの産出額が減少したことによる。

- 2 農業産出額の部門別構成割合は、耕種部門が82.7%、畜産部門が17.2%、加工農産物部門が0.1%となった。

図1 農業産出額の構成割合



### 平成17年の農業産出額

区分	産出額 億円	対前年増減率 %	構成比 %
農業産出額	1,933	1.8	100.0
耕種	1,598	3.0	82.7
うち、米	440	7.9	22.8
麦類	37	23.3	1.9
雑穀・豆類	5	0.0	0.3
いも類	24	4.0	1.2
野菜	813	3.3	42.1
果実	67	11.7	3.5
花き	176	1.1	9.1
工芸農作物	20	17.6	1.0
畜産	333	4.7	17.2
うち、肉用牛	27	3.8	1.4
乳用牛	95	5.0	4.9
豚	89	4.7	4.6
鶏	114	15.2	5.9
加工農産物	2	0.0	0.1

この統計結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。  
【[http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/1018sansyutugaku/17sansyutugaku\\_s.xls](http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/1018sansyutugaku/17sansyutugaku_s.xls)】  
この統計の目的などは、【統計の仕様】P6に掲載しています。

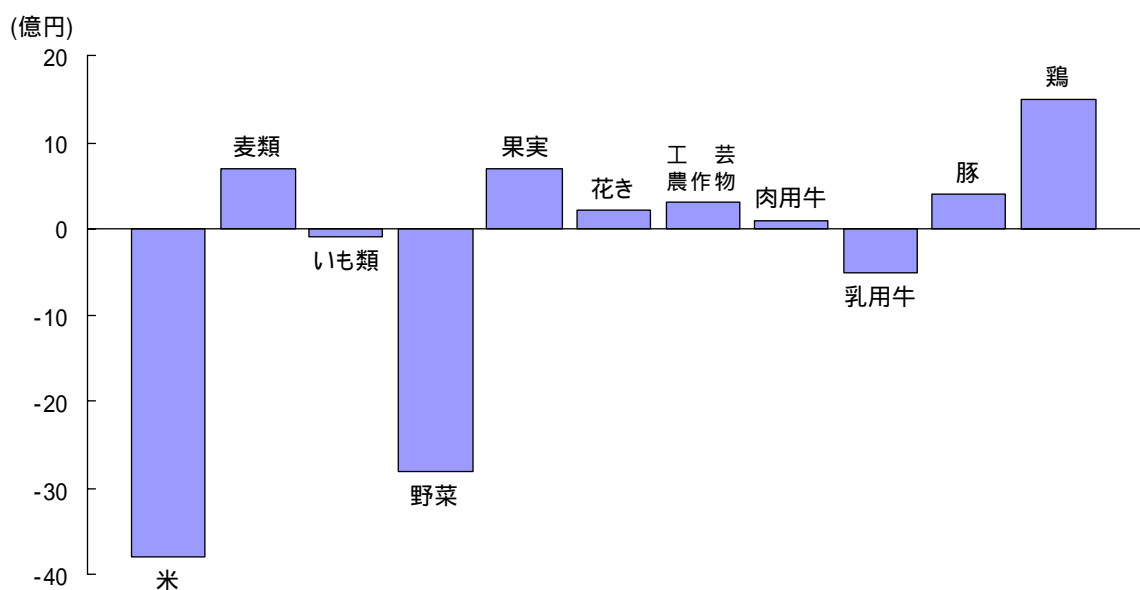
## 【解説】

### 1 耕種部門

耕種部門の産出額は1,598億円(産出額全体に占める構成比82.7%。以下、各部門とも同じ。)で、前年に比べ50億円(3.0%)減少(主に米、野菜が減少)した。

- (1) 米は440億円(構成比22.8%)で、前年に比べ38億円(7.9%)減少した。  
これは、生産量が減少したことなどによる。
- (2) 麦類は37億円(構成比1.9%)で、前年に比べ7億円(23.3%)増加した。  
これは、作柄の悪かった前年に比べ、小麦の生産量が増加したことなどによる。
- (3) いも類は24億円(構成比1.2%)で、前年に比べ1億円(4.0%)減少した。  
これは、ばれいしょの生産量が減少したことなどによる。
- (4) 野菜は813億円(構成比42.1%)で、前年に比べ28億円(3.3%)減少した。  
これは、葉茎菜類を中心に生産量は増加したものの、価格が低下したことなどによる。
- (5) 果実は67億円(構成比3.5%)で、前年に比べ7億円(11.7%)増加した。  
これは、なしの生産量が増加したことなどによる。
- (6) 花きは176億円(構成比9.1%)で、前年に比べ2億円(1.1%)増加した。  
これは、切り花の価格が上昇したことなどによる。
- (7) 工芸農作物は20億円(構成比1.0%)で、前年に比べ3億円(17.6%)増加した。  
これは、茶の生産量が増加したことなどによる。

図2 部門別産出額の対前年増減額



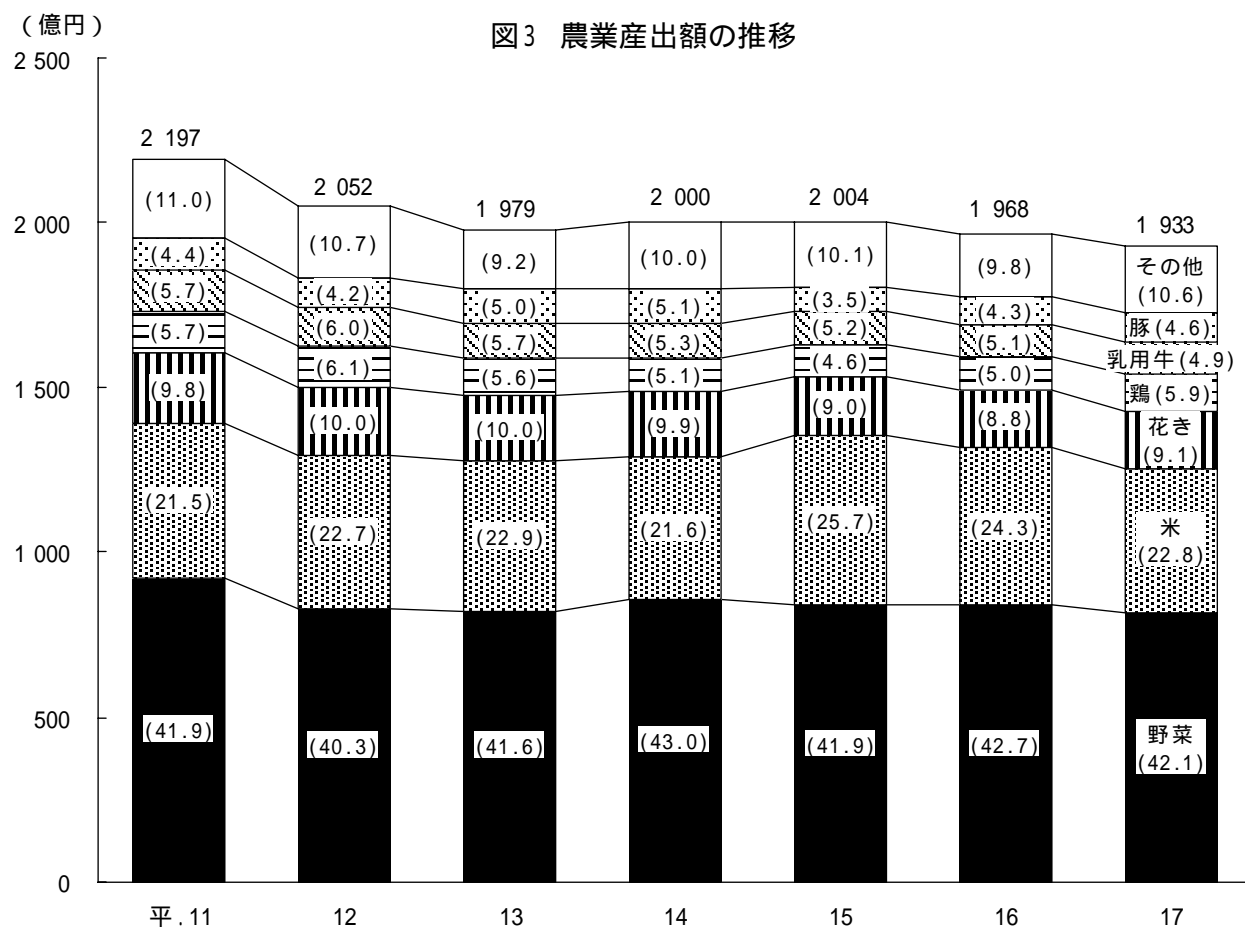
## 2 畜産部門

畜産部門の産出額は333億円(構成比17.2%)で、前年に比べ15億円(4.7%)増加(主に鶏、豚、肉用牛が増加)した。

- (1) 肉用牛は27億円(構成比1.4%)で、前年に比べ1億円(3.8%)増加した。  
これは、肉牛の価格が上昇したことなどによる。
- (2) 乳用牛は95億円(構成比4.9%)で、前年に比べ5億円(5.0%)減少した。  
これは、生乳の生産量が減少したことなどによる。
- (3) 豚は89億円(構成比4.6%)で、前年に比べ4億円(4.7%)増加した。  
これは、肉豚の価格が上昇したことなどによる。
- (4) 鶏は114億円(構成比5.9%)で、前年に比べ15億円(15.2%)増加した。  
これは、鶏卵の価格が上昇したことなどによる。

## 3 加工農産物

加工農産物の産出額は2億円(構成比0.1%)で、前年並みであった。



注:( )内の数値は各年次の合計額に対する構成割合である。

【統計表】

区 分	平 . 17		16		対前年	
	農業産出額	構成比	農業産出額	構成比	増減額	増減率
	億円	%	億円	%	億円	%
合 計	1 933	100.0	1 968	100.0	35	1.8
耕 種 計	1 598	82.7	1 648	83.7	50	3.0
米	440	22.8	478	24.3	38	7.9
麦 類	37	1.9	30	1.5	7	23.3
雑 穀 ・ 豆 類	5	0.3	5	0.3	0	0.0
い も 類	24	1.2	25	1.3	1	4.0
野 菜	813	42.1	841	42.7	28	3.3
果 実	67	3.5	60	3.0	7	11.7
花 き	176	9.1	174	8.8	2	1.1
工 芸 農 作 物	20	1.0	17	0.9	3	17.6
そ の 他 作 物	16	0.8	17	0.9	1	5.9
畜産計	333	17.2	318	16.2	15	4.7
肉 用 牛	27	1.4	26	1.3	1	3.8
乳 用 牛	95	4.9	100	5.1	5	5.0
うち、生乳	86	4.4	91	4.6	5	5.5
豚	89	4.6	85	4.3	4	4.7
鶏	114	5.9	99	5.0	15	15.2
うち、鶏卵	112	5.8	97	4.9	15	15.5
そ の 他 畜 産	8	0.4	7	0.4	1	14.3
加 工 農 産 物	2	0.1	2	0.1	0	0.0

【関連するデータ、情報】

1 農業産出額（市町村別推計）累年表

単位：億円

埼玉県	合計	うち 米	野 菜	花 き	鶏	乳用牛	豚
平成 8 年	2 483	611	991	210	133	144	109
9 年	2 346	510	979	211	127	145	103
10年	2 302	452	1 051	214	113	134	101
11年	2 197	472	921	216	126	126	96
12年	2 052	466	827	205	125	123	87
13年	1 979	453	824	198	111	113	99
14年	2 000	432	859	198	102	106	102
15年	2 004	516	840	180	93	104	71
16年	1 968	478	841	174	99	100	85
17年	1 933	440	813	176	114	95	89

## 2 個別農産物産出額順位表

順位	平. 12			13			14		
	農産物名	産出額	構成比	農産物名	産出額	構成比	農産物名	産出額	構成比
		億円	%		億円	%		億円	%
1	米	466	22.7	米	453	22.9	米	432	21.6
2	きゅうり	155	7.6	きゅうり	140	7.1	きゅうり	143	7.2
3	鶏卵	122	5.9	ほうれんそう	134	6.8	ねぎ	139	7.0
4	ほうれんそう	122	5.9	ねぎ	127	6.4	ほうれんそう	127	6.4
5	ねぎ	115	5.6	鶏卵	108	5.5	豚	102	5.1
6	鉢もの類	115	5.6	鉢もの類	105	5.3	鶏卵	99	5.0
7	生乳	112	5.5	生乳	104	5.3	生乳	98	4.9
8	豚	87	4.2	豚	99	5.0	トマト	46	2.3
9	トマト	49	2.4	トマト	47	2.4	小麦	44	2.2
10	日本なし	49	2.4	いちご	42	2.1	日本なし	42	2.1
	その他	660	32.2	その他	620	31.3	その他	728	36.4
	計	2052	100.0	計	1979	100.0	計	2000	100.0

順位	15			16			17		
	農産物名	産出額	構成比	農産物名	産出額	構成比	農産物名	産出額	構成比
		億円	%		億円	%		億円	%
1	米	516	25.7	米	478	24.3	米	440	22.8
2	ねぎ	141	7.0	ねぎ	135	6.9	ねぎ	143	7.4
3	きゅうり	134	6.7	ほうれんそう	133	6.8	ほうれんそう	120	6.2
4	ほうれんそう	124	6.2	きゅうり	127	6.5	きゅうり	114	5.9
5	生乳	95	4.7	鶏卵	97	4.9	鶏卵	112	5.8
6	鶏卵	90	4.5	生乳	91	4.6	豚	89	4.6
7	豚	71	3.5	豚	85	4.3	生乳	86	4.4
8	いちご	44	2.2	トマト	45	2.3	トマト	45	2.3
9	トマト	44	2.2	いちご	40	2.0	いちご	45	2.3
10	小麦	40	2.0	日本なし	38	1.9	日本なし	44	2.3
	その他	705	35.2	その他	699	35.5	その他	695	36.0
	計	2004	100.0	計	1968	100.0	計	1933	100.0

## 3 農業産出額上位10市町村

単位：千万円

順位	平. 5		10		15		16		17	
	市町村	産出額	市町村	産出額	市町村	産出額	市町村	産出額	市町村	産出額
1	深谷市	2 387	深谷市	2 397	深谷市	2 196	深谷市	2 184	深谷市	2 163
2	川越市	1 048	川越市	975	川越市	816	岡部町	862	熊谷市	1 109
3	岡部町	918	岡部町	892	岡部町	798	川越市	858	岡部町	931
4	妻沼町	785	本庄市	776	本庄市	700	本庄市	694	川越市	800
5	本庄市	767	妻沼町	673	所沢市	599	所沢市	614	さいたま市	776
6	加須市	760	加須市	626	妻沼町	582	妻沼町	554	鴻巣市	752
7	羽生市	731	所沢市	616	加須市	580	加須市	534	本庄市	651
8	熊谷市	687	羽生市	616	羽生市	551	さいたま市	494	所沢市	615
9	所沢市	663	熊谷市	582	さいたま市	519	熊谷市	491	加須市	508
10	行田市	602	上里町	533	熊谷市	494	羽生市	475	羽生市	455

注：各年次12月31日現在の市町村を基にした順位である。

## 【統計の仕様】

### 1 統計の目的

農産物の産出額を推計し、農業生産の実態を価値量的な面から把握して、農政の企画・推進のための基礎資料を提供することを目的としている。

### 2 推計期間

本統計の推計期間は、平成17年1月から12月までの1年間である。  
ただし、暦年をまたがって生産される野菜、果実等は年産区分とした。

### 3 推計方法

本統計は、市町村（平成17年12月31日現在）を推計単位とし、生産された農産物の価値額を、農産物の生産量及び価格に関する諸統計等を用いて推計した。

具体的には、次の方法で推計した。

・ 農業産出額 = (品目別生産数量 × 品目別農家庭先販売価格)

ただし、品目別生産数量は、収穫量から自市町村内で再び農業へ投入された種子、飼料等の数量を控除した数量である。また、品目別農家庭先販売価格は、農産物の販売に伴って交付される各種奨励補助金等を加えた価格である。

なお、暦年をまたがって生産される農産物等については、次により算出した。

- (1) 暦年をまたがって生産される野菜、果実は、「作物統計調査の作況調査・野菜調査」で定められている年産区分による数量を当該年の生産数量とし、価格もそれに準じて推計した。
- (2) 生産が全て完了している農産物は、越年販売処分の時期にかかわらず、当該年の生産数量とし、価格は年内の農家庭先販売価格とした。
- (3) 牛、馬等の大動物の価格は、育成差益を適用した。
- (4) 加工農産物は、農家が主として自家生産の農産物を原料として、屋敷等で自家生産したものを推計対象とした。この場合、その原料農産物については当該農産物の産出額に計上し、加工農産物については、加工によって新たに付加された価値の増加分のみを計上した。

#### 4 推計の対象とした農作物の範囲

部 門		品 目 名	
耕 野	米	玄米、くず米	
	麦 類	小麦、六条大麦、二条大麦、裸麦	
	雑 穀	そば、きび等	
	豆 類	大豆、えんどう、いんげん、小豆、らっかせい、ささげ等	
	い も 類	かんしょ、ばれいしょ	
	菜	果 菜 類	スイートコーン、えだまめ、さやえんどう、そらまめ(未成熟)、さやいんげん、きゅうり、しろりり、かぼちゃ、すいか、メロン、なす、トマト、いちご、ピーマン、とうがらし、とうがん、にがうり、オクラ等
		葉 茎 菜 類	キャベツ、レタス、はくさい、非結球つげな、ほうれんそう、こまつな、ねぎ、葉たまねぎ、たまねぎ、わけぎ、にら、みつば、しゅんぎく、にんにく、らっきょう、カリフラワー、ブロッコリー、しそ、せり、セルリー、パセリ、アスパラガス、ふき、みょうが、うど、わさび、たけのこ、もやし等
		根 菜 類	だいこん、かぶ、にんじん、ごぼう、さといも、やまのいも、れんこん、くわい、ゆりね、しょうが、わさびだいこん、マッシュルーム等
	種	果 実	みかん、なつみかん、ネーブルオレンジ、はっさく、いよかん、清見、キンカン、セミノール、日向夏、ぶんたん、ポンカン、りんご、ぶどう、日本なし、西洋なし、もも、おうとう、うめ、びわ、かき、くり、すもも、いちじく、あんず、パインアップル、キウイフルーツ等
		花 き	切花（チューリップ、きく、きんせんか、グラジオラス、ゆり、ストック、スイートピー、ばら、カーネーション、すいせん、アイリス、スターチス、トルコギキョウ、りんどう、マーガレット、きんぎょそう、フリージア、ガーベラ、洋らん、カスミソウ、切り葉、切り枝等）、球根（アイリス、チューリップ、ゆり、すいせん、ヒヤシンス、フリージア、グラジオラス、ダリア等）、鉢もの類、花き苗類、芝等
工芸農作物		なたね、葉たばこ、茶（生葉）、さとうきび、てんさい、ごま、ホップ、みつまた、こんにゃくいも、い（しちとういを含む）、薬用ニンジン等	
その他作物		庭園樹苗木、街路樹苗木、盆栽等苗木、稲わら（販売したもの）、植物生長（みかん、なつみかん、ネーブルオレンジ、はっさく、いよかん、りんご、ぶどう、日本なし、西洋なし、もも、おうとう、うめ、びわ、かき、くり、茶等）	
畜 産		肉 用 牛	肉用牛（子牛、育成牛、和牛、乳用おす牛等）
畜 産	乳 用 牛	生乳、乳用牛	
	豚	肉豚	
	鶏	鶏卵（正常卵、不正常卵）、ブロイラー、廃鶏	
	その他畜産物	上臈、軽種馬、めん羊、やぎ、はちみつ、ミンク、あひる、うずら卵等	
加 工 農 産 物	かんぴょう、切干だいこん、干がき、切干かんしょ、荒茶、畳表、ごぎ、うめぼし等		

5 統計表の見方

表中の記号は、以下のとおりである。

「0」「0.0」は単位に満たないもの

「-」は減少したもの

なお、計と内訳が一致しないものは、ラウンドのためである。

6 その他

本統計の詳細は、追って刊行する『平成17年生産農業所得統計』に掲載します。

この統計調査結果は、関東農政局ホームページ中の統計データに掲載しています。

アドレス【<http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/2006data.html>】

又は、関東農政局トップページ 統計データ 平成18年度

— 問い合わせ先 —

本統計調査結果について

連絡先：関東農政局 統計部 経営・構造統計課 経営統計第3係

電話：(代表) 048 (600) 0600 内線3624

(直通) 048 (740) 0581

担当者：遠藤

農林水産統計全般について

連絡先：関東農政局 統計部 統計企画課 企画第2係

電話：(代表) 048 (600) 0600 内線3613

(直通) 048 (740) 0575